

授業概要

本授業は、小学校において社会科教育を行なう上で必要な知識と教育技術の習得を図る。そのためには、学習指導要領に示された社会科の目的と内容を理解することが必要である。また、実際に授業を創ることを通して、社会科教材の多様性を理解すると同時に実践力を養うことを目指していく。

授業計画

第1回	授業をはじめるとあたって（本授業の履修上の注意や教職における位置など）
第2回	社会科の成立と学習指導要領の変遷
第3回	学習指導要領の内容とその特徴
第4回	第3学年における学習指導「わたしたちの町について」
第5回	第4学年における学習指導「地域の伝統文化について」
第6回	第5学年における学習指導「国土の特徴について」
第7回	第5学年における学習指導「食料生産について」
第8回	第6学年における学習指導「我国の歴史について」
第9回	第6学年における学習指導「世界の中の日本の役割について」
第10回	生活との接続及び中学校社会科への連続について
第11回	博物館、図書館などの利用について
第12回	学習指導案の作成及び模擬授業①—指導課程と教材を中心に—
第13回	学習指導案の作成及び模擬授業②—学習者の反応と発問を中心に—
第14回	学習指導案の作成及び模擬授業③—模擬授業とその振り返りを中心に—
第15回	全体のまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

社会科の目的及び内容の変遷を概観し、社会科の持つ特質について理解する。また、学習指導要領から学年別に求められている目標と内容について把握する。また、社会科は初等教育、中等教育を通して「社会認識」を深めさせるものであることを理解し、その連続性についても捉えられるようにする。なお、履修者には、学習指導案の作成が難なくできるよう目指し、あわせて模擬授業を行なうことを通して社会認識力を図る教材化の多様性について理解する。

履修上の注意

社会科は、教室で学ぶだけでなく、課外の学習も重要な科目です。このため、土曜日に、調査・見学等を、学期中に一二度行いますので、学生の参加を求めます。

予習復習

予習は求めませんが、現代社会に関するニュース等をよく理解していること。教科書として使用する学習指導要領解説は、何度も読み返してください。

評価方法

学期末の試験が六割、学期中に課す課題や授業での活動が四割で採点します。

テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 社会編』